Canon MACRO PHOTO LENS

MP-E 65mm f/2.8 1-5×



JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンマクロフォトレンズMP-E 65mm F2.8 1-5×は、レンズ単体で等倍（1倍）から5倍までの拡大撮影ができる、EOSカメラ用高倍率マクロレンズ（近接撮影専用）です。

特長

1. UDレンズ、3群フローティング方式などの採用により、等倍から5倍までの全撮影領域で優れた描写性能を実現しています。
2. レンズ単体で5倍までの撮影ができます。
3. キヤノン接写専用ストロボを使用して、接写ストロボ撮影が簡単に行えます。

⚠ 安全上のご注意

- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。**視力障害の原因となります。
  特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
- **レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。**太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

取り扱い上のご注意

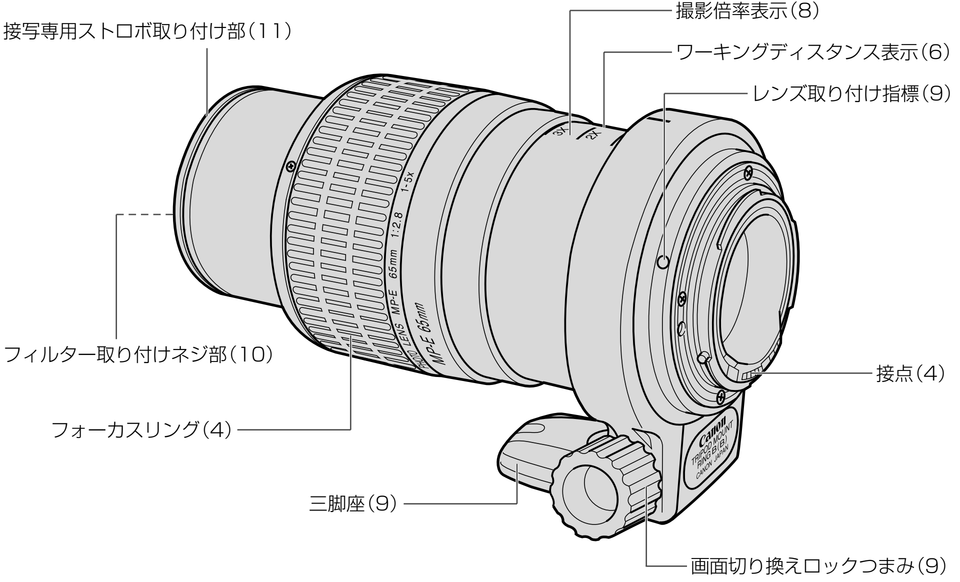
- **レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。**そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。
  また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。**レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。**

本文中のマークについて

撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。

基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

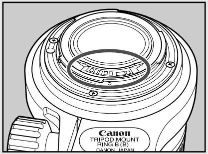
各部の名称

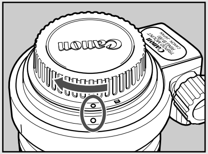


（＊＊）の＊＊部は参照ページを示しています。

1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。





- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

2. ピントの合わせ方

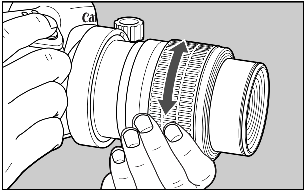
MP-E 65mm F2.8 1-5×は、フォーカスリングを回してピントを合わせます（AF撮影はできません）。

ピントの合わせ方には、撮影倍率を優先する方法と、構図を優先する方法があります

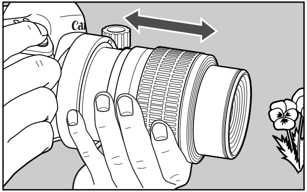
近接撮影では、被写界深度が浅くなるため、ピント合わせは、慎重に行ってください。

撮影倍率とは、被写体の大きさと撮影面上の像の大きさの比率のことです。MP-E 65mm F2.8 1-5×は、レンズの鏡筒に撮影倍率を表示しています。

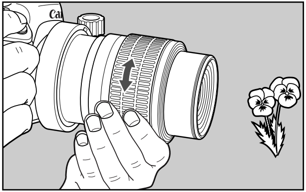
●撮影倍率優先撮影



1 撮影倍率を決める
レンズの撮影倍率表示を目安に、任意の撮影倍率までフォーカスリングを回します。



2 ピントを合わせる
ファインダーを見ながら、カメラ全体を前後して、ピントの合う位置を見つけます。



3 ピントの微調整をする
フォーカスリングを回して、ピントの微調整をします。

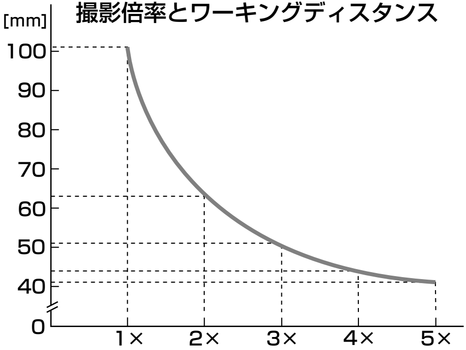
●構図優先撮影

ファインダーで構図とピントを確認しながら、フォーカスリングを回します。構図を決めた後の操作は、撮影倍率優先撮影の手順2、3と同じです。

- 本レンズ装着時のファインダー内合焦マークは正しく表示されません。ピント合わせは、必ずファインダー像を見ながら行ってください。
- 特に高倍率撮影時は、ワーキングディスタンス（レンズの先端から被写体までの距離）が極端に短くなります。被写体にレンズが当たらないようご注意ください。

- 手ブレを防ぐために、三脚とリモートスイッチ（別売）の使用をおすすめします。
- 撮影倍率を優先して撮影するときは、市販のフォーカシングレールを使用すると、ピント合わせがしやすくなります。
- 高倍率撮影時は、ファインダーが暗くなりピントが合わせにくくなります。アングルファインダーC（別売）の使用をおすすめします。
- 被写界深度の確認は、被写界深度表を参照するか、カメラの被写界深度確認機能を利用してください。

撮影倍率とワーキングディスタンス



被写界深度表（ピントの合う奥行き幅）

[mm]

倍率	F2.8	F4	F5.6	F8	F11	F16
1×	0.396	0.560	0.792	1.120	1.584	2.240
2×	0.148	0.210	0.297	0.420	0.594	0.840
3×	0.088	0.124	0.176	0.249	0.352	0.498
4×	0.062	0.088	0.124	0.175	0.247	0.350
5×	0.048	0.067	0.095	0.134	0.190	0.269

3. 露出について

撮影倍率と実効FNo.

カメラに表示される絞り数値は、ピントが無限遠（∞）のときの数値です。実際の絞り（実効FNo.）は、撮影距離が近づく（撮影倍率が高くなる）にしたがって暗く（実効FNo.数値が大きく）なります。これは一般撮影の領域では露出にほとんど影響はありませんが、近接撮影の場合、実効FNo.の変化は無視できません。
単体露出計を使用して露出を決めるときは、次の露出倍数を加えて撮影してください。

実効FNo.は、次の計算式から求めることができます。

実効FNo.=公称FNo.×（撮影倍率＋1）

つまり、カメラに表示されている絞り数値（公称FNo.）がF2.8で、撮影倍率が等倍のときの実効FNo.はF5.6になります。

撮影倍率	1×	2×	3×	4×	5×
実効FNo.	5.6	8.4	11.2	14.0	16.8

露出の決め方

近接撮影の適正露出の決定には、被写体条件が大きく影響します。同じ被写体に対し、できるだけ露出を変えて撮影しておくことをおすすめします。

[EOS-1Ds Mark III, 1Ds Mark II, 1Ds, 1D Mark III, 1D Mark II N, 1D Mark II, 1D, 1, 1N/DP/HS, 1V/HS]
等倍から5倍まで、TTL測光によりAE(自動露出)撮影ができます。任意の撮影モードを選択し、シャッター速度、絞り数値を確認して撮影します。

[上記以外のEOSカメラ]
露出誤差を生じるため、AE撮影はおすすめできません。あらかじめテスト撮影するか、単体露出計を使用して、実効FNo.を基準に露出を決めて撮影します。公称FNo.を基準にするときは、測光値に、露出倍数を加えて撮影します。

撮影倍率	1×	2×	3×	4×	5×
露出倍数（段）*	+2	+3 $\frac{1}{3}$	+4	+4 $\frac{2}{3}$	+5 $\frac{1}{3}$
	+2	+3	+4	+4 $\frac{1}{2}$	+5

*上段：$\frac{1}{3}$ 段表示　下段：$\frac{1}{2}$ 段表示

撮影倍率と公称FNo.に対する実効FNo.

1/3段表示

公称FNo.	1×	2×	3×	4×	5×
2.8	5.6	8.4	11.2	14	16.8
3.2	6.4	9.6	12.8	16	19.2
3.5	7	10.5	14	17.5	21
4	8	12	16	20	24
4.5	9	13.5	18	22.5	27
5	10	15	20	25	30
5.6	11.2	16.8	22.4	28	33.6
6.3	12.6	18.9	25.2	31.5	37.8
7.1	14.2	21.3	28.4	35.5	42.6
8	16	24	32	40	48
9	18	27	36	45	54
10	20	30	40	50	60
11	22	33	44	55	66
13	26	39	52	65	78
14	28	42	56	70	84
16	32	48	64	80	96

1/2段表示

公称FNo.	1×	2×	3×	4×	5×
2.8	5.6	8.4	11.2	14	16.8
3.5	7	10.5	14	17.5	21
4	8	12	16	20	24
4.5	9	13.5	18	22.5	27
5.6	11.2	16.8	22.4	28	33.6
6.7	13.4	20.1	26.8	33.5	40.2
8	16	24	32	40	48
9.5	19	28.5	38	47.5	57
11	22	33	44	55	66
13	26	39	52	65	78
16	32	48	64	80	96

- EOS-1、EOS-1N/DP/HSのファインスポット測光は、露出誤差を生じるため使用できません。
- リモートコントロール撮影などで、ファインダーから目を離して撮影するときは、アイピースシャッターまたは、アイピースカバーを使用してください。使用しないと、ファインダー接眼部から光が入り、適正な露出が得られないことがあります。

- EOS-3のフォーカシングスクリーンをレーザーマットタイプに交換したときは、等倍から5倍までAE撮影ができます。
- 撮影モードは、被写界深度や露出の調整のしやすい絞り優先AE（**Av**）またはマニュアル露出（**M**）をおすすめします。

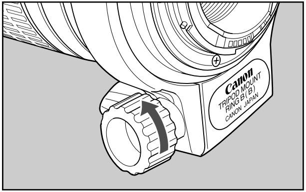
4. 三脚座の使用方法

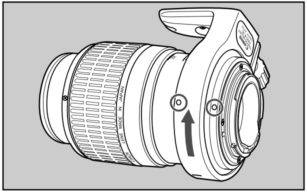
レボルビング（回転）

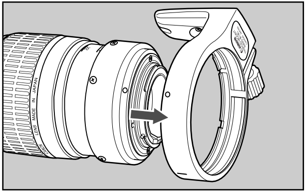
三脚座の画面切り換えロックつまみをゆるめると、カメラごと任意に回転させて画面の縦位置と横位置が変えられます。

着脱

取り外しは、カメラを外し次の手順で行います。取り付けは逆の手順で行います。





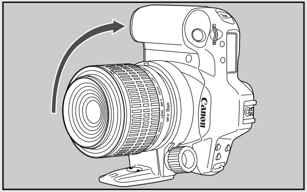


1 ロックつまみをゆるめます。

2 三脚座を回転させて、三脚座の取り付け指標とレンズの取り付け指標を合わせます。

3 三脚座をマウント方向に外します。

三脚座の使用方法



● 縦位置撮影のときは、カメラのグリップが上になる方向に回してください。反対方向に回すと、三脚座がグリップに当たります。
● レンズを着脱するときは、三脚座を正位置（真下）にしてください。三脚座が正位置にないと、カメラのグリップやペンタプリズム部に当たって、レンズが着脱できないことがあります。

5. フィルター（別売）

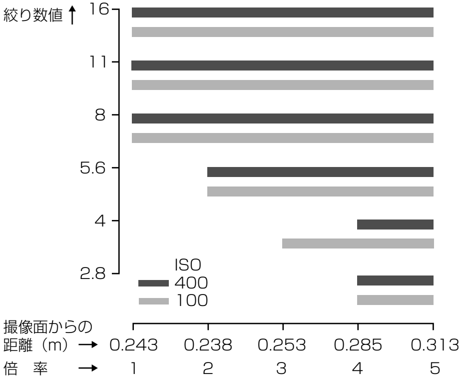
フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

● フィルターとキヤノン接写専用ストロボを併用することはできません。
● 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（58mm）を使用してください。

6. 接写専用ストロボ（別売）

キヤノンマクロリングライトストロボMR-14EXまたはマクロツインライトMT-24EXを使用して、等倍から5倍までの近接ストロボ撮影をE-TTL自動調光によるフルオートで行うことができます。

MR-14EXの調光連動範囲



- MR-14EXまたはMT-24EXの使い方などについては、それぞれの使用説明書を参照してください。
- 近接撮影時の撮影モードは、被写界深度や露出の調整のしやすい絞り優先AE（**Av**）またはマニュアル露出（**M**）をおすすめします。
- MT-24EX使用時は別売の「MP-E65用専用フード」のご使用をおすすめします。

近接撮影では、一般撮影に比べて被写体の条件による影響を受けやすくなり、一度で適正な露出が得られないことが多くなります。同じ被写体をできるだけ露出を変えて撮影しておくことをおすすめします。

7. その他

EOS専用の外部ストロボなどを使用すると、ワイヤレスまたはワイヤードによる多灯ストロボ撮影をフルオートで行うことができます。

8. 主な仕様

焦点距離・明るさ	65mm・F2.8
レンズ構成	8群10枚
最小絞り	F16
画角（等倍撮影時）	対角 18°40′、垂直 10°35′、水平 15°40′
撮影距離	0.238〜0.313m
撮影倍率・画界	1〜5倍・24×36〜4.8×7.2mm
フィルター径	58mm
最大径×長さ	81×98mm
質量	710g
フード	MP-E65専用フード（別売）
レンズキャップ	E-58
ケース	LP1216

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。キャップおよびダストキャップをつけたときの長さは表示寸法+21.5mmになります。
- 大きさ・質量は本体のみの値です。
- エクステンダーEF1.4X II/EF2X II、エクステンションチューブEF12 II/25 II およびクローズアップレンズ250D/500Dは使用できません。
- 絞り値はカメラ側で設定します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、製造終了後7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、キヤノンサービスセンターにお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EFレンズホームページ

canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター

050-555-90001（直通）

受付時間〈平日〉9：00～20：00〈土/日/祝〉10：00～17：00〈1/1～3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon

CT1-7525-010

2009.7